

第2次金沢版総合戦略の新たな視点について

国の第2期総合戦略の基本目標と横断的な目標

基本目標

基本目標1

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

- 地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
- 安心して働ける環境の実現

基本目標2

地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

- 地方への移住・定着の推進
- 地方とのつながりの構築

基本目標3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

基本目標4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

横断的な目標

横断的な目標

多様な人材の活躍を推進する

- 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
- 誰もが活躍する地域社会の推進

横断的な目標

新しい時代の流れを力にする

- 地域における Society5.0 の推進
- 地方創生 SDG s の実現などの持続可能なまちづくり

戦略策定ワーキングにおける主な意見

結婚・出産・子育て

- ・家事や子育ての環境整備によって女性の活躍を支えることが重要（良妻賢母の考えで育てられた子育て世代の意識改革、外国人や主婦層、リタイアした方へ依頼しやすい環境づくり）
- ・新たなものを創造するためには、デジタルを扱える人材の育成が必要（社会人が学び直しできるリカレント教育、幅広い年代の教育）
- ・働き方改革によって効率化した時間を人との交流に使うと金沢らしくなる（町内会等の地域に関わる活動に対する企業理解を促進）
- ・人材不足の中での休暇は他の人への負担を考慮し、休みにくい状況（休暇を取得しやすい環境づくり、企業への経済的な支援が必要）

地方とのつながり、人の流れをつくる

- ・地域で働く社会人や首都圏の社会人の定着、地域の人材の高度化等を目指した人材養成プログラム開発に取り組んでいる。
- ・学生に金沢を知ってもらい、愛着を持ってもらうきっかけづくり、生活のしやすさを積極的に発信するべき
- ・金沢町家における支援制度を使いやすくする必要がある。
- ・地元とのつながりを途切れない工夫が必要
- ・関係人口の増加が必要（サマースクールの実施、東京と金沢の大学間の単位認定、金沢の強みを発信）

稼ぐ地域をつくる、安心して働く

- ・地方や業界、企業が連携したデジタル化と老若男女問わず学べる環境づくりを地域全体で進めていくことが必要
- ・金沢での起業希望者への相談・アドバイス体制の強化が必要
- ・やる気のある学生を残すためには、若い人がつくるベンチャー企業を作ることが必要
- ・国内だけでなく海外マーケットも意識し、様々なコンテンツを活用、組み合わせていくことが必要

魅力的な地域をつくる

- ・大学生生活において車を購入する気にならないため、公共交通を充実して欲しい。（長期的には MaaS、短期的には既存バスを軸とした利便性向上、情報提供の面は改善）
- ・市民活動に参加できれば、定年後の移住も可能性がある。

第2次金沢版総合戦略の新たな施策の視点・キーワード

基本目標1

若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる

【新たな施策の視点・キーワード】

- ・仕事と家庭の両立
- ・地域活動へ参画しやすい意識づくり
- ・中小企業等の人手不足対策
- ・リカレント教育の推進

基本目標2

金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる

【新たな施策の視点・キーワード】

- ・産学連携したエクスターンシップ
- ・空き家の利活用、流通体制の構築
- ・県外進学者及び在住者の金沢移住・就業促進
- ・学生に金沢を知ってもらい、愛着を持つきっかけづくり
- ・関係人口の創出拡大

基本目標3

イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【新たな施策の視点・キーワード】

- ・創造的な活動を行うクリエイターや起業家等への支援
- ・様々な人材や企業、地域連携を促すきっかけづくり
- ・最先端の未来技術等を活用した産業振興
- ・金沢ブランドを活用した独自産業の創出

基本目標4

周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる

【新たな施策の視点・キーワード】

- ・地域の課題解決を図る新たな交通サービス
- ・官民連携による公共空間等の賑わい創出